

# ありおか通信



令和5年9月6日

校長 森本 一登

## 令和5年度全国学力・学習状況調査分析について

6年生を対象に、令和5年4月18日（火）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

### 1. 児童に対する調査

#### (1) 学力に関する調査

＜全国学力・学習状況調査＞

〔国語・算数〕※それぞれ45分

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

※上記①と②を一体的に問う

#### (2) 学習状況に関する調査（児童質問紙）

小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査



### 2. 調査結果について

#### ・学力に関する調査結果について

国語、算数の正答率に関しては、いずれも全国平均、兵庫県平均を上回る結果となりました。

国語の基礎的事項については、授業において繰り返し学習を行い、家庭学習で復習等に取り組んだことから、「話すこと」「聞くこと」「読むこと」を中心におおむね定着が見られました。しかし、「書くこと」に関する問題では、質問の意味を正確に把握し、与えられた条件を適切に自分のことばでまとめることにやや課題が見られました。

算数については、「数と計算」「データの活用」等、基本的な知識・技能においておおむね定着が見られました。しかし、「図形」の領域では、問題文を正確に読み取り、条件をまとめ整理して問題を解くことにやや課題が見られました。

#### ・学習状況に関する調査(児童質問紙)結果について

調査結果から、生活習慣に関すること「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている」については、例年と同様に肯定的な回答が多く、満足できる結果でした。また、「学校に行くのは楽しい」については、肯定的な回答が多く、学校生活を満足している児童が多くいることがうかがえます。

自己肯定感の育成については、昨年度より学校行事等を活用し取り組みを進め、「自分にはよいところがあると思う」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標を持っている」等、肯定的な回答をした児童が多くなり、取り組みの成果が徐々にあらわれています。児童が、様々な活動を通し、活躍できる場で自分を表現し、認められることで自己肯定感が高まっていくと考えます。

学習面では、家庭学習の時間を確保できている児童は多く、家庭での学習習慣が定着していることがうかがえます。

しかし一方で、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」等の学びに対する態度や姿勢の育成に関する課題があり、今後児童が、主体的に学びに対して取り組み、生活に役立つことや他教科とのつながりを意識することができる、授業づくりや体験活動を行っていくことが必要だと考えます。

【主な調査結果は以下の通りです。】

・朝食を毎日食べている	本校 96.3% (全国 93.9%)
・自分には良いところがあると思う	本校 85.1% (全国 83.5%)
・先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う	本校 89.5% (全国 89.8%)
・将来の夢や目標を持っている	本校 81.3% (全国 81.5%)
・学校に行くのは楽しいと思う	本校 87.3% (全国 85.3%)
・家で、自分で計画を立てて勉強している	本校 69.4% (全国 70.7%)
・平日の授業以外の学習時間が1時間以上である	本校 71.4% (全国 57.1%)
・平日の授業以外の読書時間が30分以上である	本校 32.1% (全国 37.3%)
・課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ	本校 79.2% (全国 78.8%)
・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。	本校 66.4% (全国 74.4%)
・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	本校 77.6% (全国 81.8%)

#### ＜今後の取り組みについて＞

今回の調査結果から、今後も継続して漢字力や計算力などの学力の基礎となる力の向上を図るとともに、学習規律と学習習慣の確立を図っていきます。また、国語では「書くこと」、算数では「図形」については、課題がみえたため、授業を通して指導していきます。また、引き続き子どもたちに「思考力」「判断力」「表現力」をつけさせるためにも、授業改善は必須と考えます。児童一人一人が考える時間を確保するとともに、課題を自分の力で解決できるように指導していきたいと考えます。

今回の調査で、「話し合い活動」や「グループワーク」に課題がみられました。「教科」「総合の時間」「学級活動」などの場面で、子どもたちが他者の意見を聴き、自分の考えを整理しわかりやすく伝えることのできる力をつけていきます。

また、どの児童にも「自己肯定感」が育つよう、学級活動、委員会活動等を通して相手の立場に立って物事を考え、実践できる子どもの育成を行っていきます。

子どもたちが心豊かに成長できるよう、学校で取り組んでいきますが、ご家庭や地域の連携・協力も必要ですので、ご協力をお願いいたします。